



発行者 ■  
西東京・生活者ネットワーク

発行責任者/清水 浩子 発行日/2014年6月1日  
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102  
FAX/042-410-0014 E-mail/nishitokyo@seikatsusha.net

TEL 042-453-4121



## 新人2人の擁立を決定

生活者ネットは、  
12月21日投開票の西東京市議会議員選挙に向け、  
かとう涼子さんと後藤ゆう子さんの擁立を決定しました。

### 「あきらめない市民」の歴史

旧保谷市に生活者ネット(以下ネット)が誕生して30年、旧田無市での誕生から20年、ネットの歴史は、議員個人のものではなく、普通の市民があきらめることなく政治に携わってきた歴史です。自分の生活課題を解決したいと願った普通の市民が結集し、「ゴミ問題、食の安全、子育て、介護など身近な問題を共有し、知恵を出し合い、政策をつくり、合意を高め、そして失敗しながら、政策実現をしてきた歴史なのです。

市民が力をつければ、時に遠回りに見えても、確実に民主的政治手法が根付き、自分たちの将来を自分たちの手で決定していくことができる。私たちはそう確信し、活動をすすめてきました。

### ネット議員は最長でも3期まで

膨大な情報と権力を持ちつづる議員は、時として市民感覚を失ったり、利権と結びつく危険性があります。任期の長期化を防ぎ、市民の政治参加の層を拡げるために、最長でも3期までとする。新しい人を次々と議会に送り出してきました。

西東京市では、10人以上の議員を生み出し、地域に戻った議員経験者は、地域で環境、福祉その他さまざまな分野で活動を継続し、市民力を蓄積してきました。

### 政治とお金の関係を変える

ネットは、政治とお金の不透明な関係を変え、利権政治をなくすために、政治への個人寄付をすすめる運動を行ってきました。市民一人ひとりが個人の意思で、支持する政党・政治家に寄付をし、政治を変えていく運動です。

ネット議員は市民に率先して議員報酬から法に基づきネットに寄付を行い、お金の流れは公開しています。集まった資金で、ネットは市民政治を拡げる活動を行い、地盤、看板、かばんを持たない普通の市民、女性たちの立候補を可能とし、市民政治へと政治風土を変えてきました。

### 政策を支えるのは「自治する市民」

行政への市民参加と協働は、今やあたりまえ。しかし、市政への市民参加は道半ばで、選挙の時にはまだまだ議員に白紙委任しがちな現状があります。

ネットは政策づくりの過程に市民の意見を取り入れ、行財政の執行のチェックとあわせて、地道な調査活動に基づく政策提案を実現してきました。他と同じように見える政策でも、その裏付けとなる政治理念は大きく異なります。ネットの政策を支えるのは、地域で自治する市民です。あなたのご意見を、ぜひネットにお寄せください。

◆ ◆ ◆  
このたびネットは2人の新人の擁立を決定。2人を議会に送り出すことで、市民政治をさらに進めていきます。

### 後藤ゆう子さんのプロフィール

- 1967年 ■吹田市生まれ。千葉、滋賀など転住
- 1986年 ■滋賀県立膳所高校卒業  
高校時代に陸上リレーで近畿大会に出場
- 1991年 ■同志社大学法学部卒業
- 1990~1993年 ■ライフル射撃で連続国体出場
- 1991~1993年 ■情報通信企業勤務
- 1998年 ■西東京市に転入後、すぐに生活クラブ生協に加入し各種委員(1999年、2003-2005年)を務める  
多くの仲間にも恵まれ定住を決意
- 2008~2013年 ■芝久保小学校、田無第一中学校でクラス委員、施設開放委員などのPTA活動
- 2007年~ ■生活クラブ生協デポー西東京 フロアワーカーズ「まどか」代表



同居家族: 夫、娘(高1)、息子(中1)  
趣味: 大橋トリオさんの曲を聴くこと、ギター演奏(横好き)  
芝久保町在住

### かとう涼子さんのプロフィール

同居家族: 夫、息子(高1)、娘(小6)、両親、猫  
趣味: 和太鼓、祭り、ライブ観賞  
南町在住



- 1971年 ■佐々病院(旧・田無市)で生まれる。  
幼少時に福生市へ移り、小4で再び田無市へ(柳沢小)  
田無四中ではバスケ、保谷高校(1990年卒業)では文化祭に没頭
- 1995年 ■法政大学社会学部卒業後も研究室に残り、自治体の環境政策について調査研究を続けつつ、「アースデイ日本◎東京事務所」の運営にボランティアで関わる
- 1996年 ■環境自治体会議の事務局に就任(〜2009年)
- 1997年 ■出版社にて、自治・行政政策に関する雑誌、書籍を編集(〜現在)
- 1998年 ■長男の出産を機に、生活クラブ生協に加入  
柳橋保育園、保谷第二小学校、保谷柳沢学童クラブなどでPTA役員を歴任
- 2007年 ■4月の統一地方選挙にあわせ、生活者ネットなどととも「変えなきゃ!議会キャンペーン」を展開

生活者ネットワークの活動レポートは、  
年4回発行しています。

活動レポートは、現在ボランティアの皆さんの協力で市内全域にお届けしています。マンションなどで「チラシ配布お断り」「部外者立入禁止」などの表示がありお届けできないお宅が増えています。事務所042-453-4121にご連絡いただければ、毎回確実にご自宅までお届けします。お気軽にご連絡ください。(FAX・E-mailでも可)

記事について詳しく知りたい、ホームページが見られないなどがありましたら、事務所までご連絡ください。資料をお届けします。

## 困りごとを抱えた人に寄り添う支援を！

### 生活困窮者自立支援法を

きちんと活かそう！

2015年4月より、生活困窮者自立支援法が施行されます。これにより、西東京市でも生活困窮者に包括的な相談支援を行うことが必須になります。

雇用も経済も不安定な今、生活困窮者は特別な存在ではありません。リストラで住宅ローンや学費の返済が不能になったり、高齢による理解力の低下や認知症で家計管理ができなくなったり、近年増加している詐欺被害やうつ病、DVなどで就労や住居の確保が出来なくなるなど、誰もが困難を抱えて立ちいかなくなる可能性があります。

今までの福祉政策ではカバーできない多様な困りごとを解決するため、来年度には市内に自立相談支援の窓口がつけられます。この法律が、単

に生活保護受給者を減らすためだけでなく、相談者本人や家族の生活再生に有効に機能するよう、役所の横断的な連携と、市民の力を活用した柔軟な支援をネットは提案していきます。

(副代表・後藤ゆう子)



▲「一般社団法人生活サポート基金」の原正子さん(写真左)より、生活再生相談の体験を交え、生活困窮者自立支援法施行を前に自治体に求められることを伺いました。

## 「市民版地域福祉計画」策定中！



市内で介護や子育て支援に取り組む団体などが協働で、地域福祉計画を策定しています。4月には、それぞれの活動から見えてきた課題解決のためのアイデアを出し合いました(写真)。生活者ネットも参加しています。(政策委員長・かとう涼子)

## ついにケガ人！ ——保谷庁舎前

保谷調布線と保谷新道との交差点で、歩道と車道の間段差があり危険だという声がネットに寄せられました。市に確認したところ、視覚障がいのある方には段差が必要との回答。しかし、ついにケガ人が！段差に引っかかりひっくり返りそうになった乳母車を支えてけがをしたとのこと。(写真)



他の自治体では段差をスロープ状にしてスムーズな通行を可能にし、ゴムピースで突起を作ることで視覚障がい者が歩道と車道の境界を認識できるように工夫をしている例もあります。

バリアチェックを行います。

6月29日(日) 10:00~

集合場所：こもればいホール玄関前

## 設立30周年記念集会 「市民政治の バトンをつなげて」

4月19日(土)、コール田無の多目的ホールにて、西東京・生活者ネットワークの設立30周年を記念するイベントを開催しました。当日は、「それはごみから始まった」と題する寸劇で、設立当初の活動を有志が披露。ごみは「分ければ資源」と気づいた市民が、議会に対する要請活動をきっかけに、市民の代理人を議会に送るまでの経緯を熱演しました。100人近い参加者のもと、ネットの原点は地域活動にあることを確認する集会となりました。



▲「子どもが真ん中のまちづくり」と題し、永田陽子さん(臨床心理士/駒沢女子短期大学講師)による記念講演



▲寸劇上演中！



▲新人2人のお披露目。かとう、後藤が決意を述べました。

### 参加者の感想

- 後藤さんの話をきいて思わず泣いちゃいました。ネットの議員ってこんな普通な感覚をもった人がずっとなってきたんだと実感しました。
- 寸劇は30年の流れがよくわかり、みなさんのすごいパワーを感じました。
- 西東京ネットのフレッシュなスタートを強く意識できる集会でした。
- 永田先生のお話は今の私たちに大切なものを考えさせて下さるもので、子どもの問題に限らず幅広い世代に必要なものと感じられいいお話でした。

## 5月3日憲法記念日 駅頭街宣

毎年憲法記念日に行っている駅頭街宣。今年は、集団的自衛権に注目が集まる中での街宣でした。政府の閣議決定によって、憲法9条を変えなくても自衛隊の武力による攻撃が可能になるうとしています。こんな重大な決定を、国民の声も聞かずに進めてしまうなんて認められない！みんなで声をあげていきましょう！

集団的自衛権：日本の同盟国やその軍隊が攻撃された時に、日本が攻撃されていなくても、日本に対する攻撃とみなして一緒に戦う権利のこと



これほど大きな決定なのに、私たち国民がまったく関与できないなんておかしい。一部の政治家たちによる「なし崩しの9条改悪」に、絶対反対です！(かとう涼子)

日本が戦争のできる国になるようにしていることもショックですが、こんな大事なことに敏感になっていなかった自分や、関心をもたない人がまだまだ多いという現状がそれ以上に怖いことだと思います。(後藤ゆう子)

### 当日、後日 いただいた声

- 「憲法の大切さがありました。今後もニュースを見たい。」
- 「憲法記念日に街宣やってるのはエライ！がんばって！」
- 「チラシみました。憲法についての話し合いがどのように行われているのか知りたい。」

## 生活者ネットワークのルール

- ※選挙はカンパとボランティアで行います。
- ※議員は最長3期でローテーション。議員を職業化せず、誰もが議員になることで特権化しません。
- ※議員報酬は市民の活動資金として使い、お金の流れは公開します。

【お知らせ】大友かく子さんは、5月26日をもって生活者ネットを離脱されました。